

《公開授業》 特別支援学級 算数 「いまなんじ」

★ はICT活用

話し合う活動

- 目標
- 1時から12時までの時刻を表すことができる。
 - 日常生活に関わる時刻を覚えることができる。

導入場面

本時の学習内容を知るため、カードを提示する。



1つ目は、iPadで、2つ目は、黒板の時計で、3つ目は、1日の生活と時間について勉強します。



「組み立てとけいパズル」での勉強をはじめます。

展開場面

タブレットを使って、視覚と聴覚で問題をとらえ、自分のペースで学習を進める。



できたので、シールをはりましょう。



アプリ「くみだて時計パズル」を使って、文字盤に数字を入れ、時刻を確かめる。



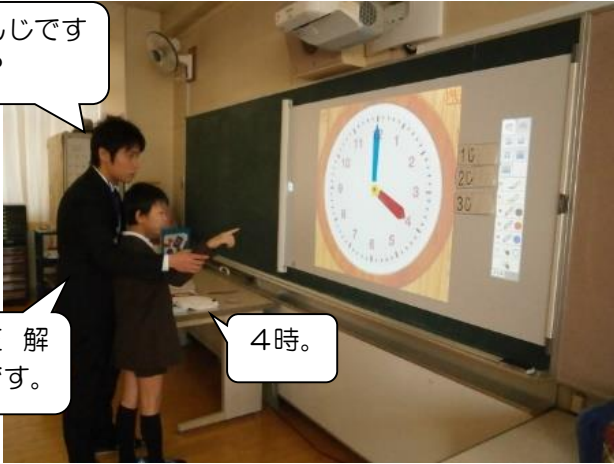
タブレットの画面は、スクリーンにも投影。





電子黒板に時計の文字盤を映し出し、長針と短針を貼り付けて時刻を表す。

なんじですか？



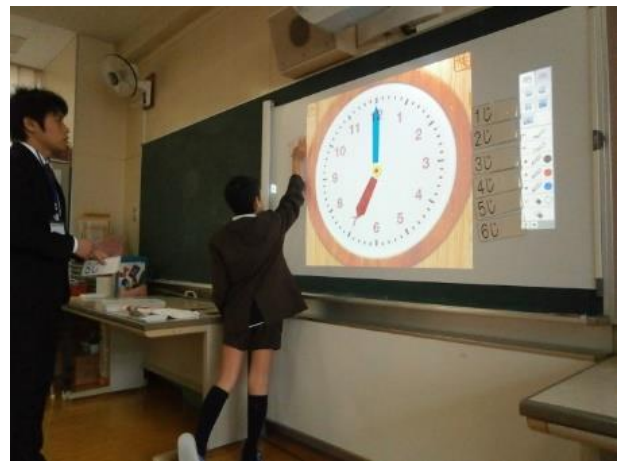
正解です。

4時。



3時。

3時をはってきてね。



終末場面 日常生活に関わる時刻を、確かめる。何の時間かを話してから、書き込んで写真に残す。



ちゃんとできたので、花丸です。



上手く写真がとれました。



9時におやすみです。1日がおわりましたね。



「Yahoo キッズ図鑑」で、興味あるものを調べる。



特別支援学級 算数科 学習指導案

授業者 中川 太一

《ICT の活用》

授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input checked="" type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他 ()
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習
ICT 活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ
ICT 活用人	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他 ()
ICT 活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input checked="" type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末(iPad) <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末(iPad) <input type="checkbox"/> その他 ()
活用コンテンツ	OiPad アプリ「くみたて時計パズル」
ICT 活用のポイント	<input type="checkbox"/> 学習したことを自分で復習することができる。 <input type="checkbox"/> 教材を拡大することで、視覚的に認知しやすくなる。 <input type="checkbox"/> アクセシビリティにより、操作を制限することができる(iPad)。

1 日 時 平成27年1月28日(水) 第6校時(14:45~15:30)

2 学年・組 特別支援学級(ひまわり学級)3組
 在籍児童数 4年男子1名 5年男子3名 (本時児童数5年男子1名)

3 単元名 いまなんじ

4 目 標 1時から12時までの時刻を表すことができる。
日常生活に関わる時刻を覚えることができる。

5 指導計画(通年)

次(学期)	主な学習活動	ICT 機器活用のポイント
1	<input type="checkbox"/> 時計の文字盤の数字を覚える。(プリント学習) <input type="checkbox"/> 時刻を覚える。(プリント学習・iPad アプリ)	(児 iPad) 時計アプリの問題を用いて、文字盤の数字の復習、時刻の復習をする。アプリを使用することで、視覚と聴覚で問題をとらえ自分のペースで学習を進める。
2	<input type="checkbox"/> 時刻を声に出して読むことができる。(時計模型, プリント学習, iPad アプリ)	(児 iPad) 時計アプリの問題を用いて、文字盤の数字の復習、時刻の復習をする。
3 (本時)	<input type="checkbox"/> 時刻を自分で表すことができる(電子黒板, iPad アプリ)。 <input type="checkbox"/> 日常生活に関わる時刻を覚える。	(電子黒板) 電子黒板上で、長針と短針を用いて時刻を表す。 (児 iPad) 日常生活の場面写真を提示して、時刻と対応させる。

※1, 2学期の学習の達成状況

時計の文字盤の数字を正しく覚えることができている。指示された時刻を声に出してほとんど読むことはできるが、10時、11時、12時は混同していることが多い。学校生活や家庭のなかで、給食、テレビ、晩ごはん、ヘルパーさん等、時計を意識する場面が増えてきている。

6 本時の学習

(1) 目 標

- 1時から12時までの時刻を表すことができる。
- 日常生活に関わる時刻を覚えることができる。

(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導入	○本時の学習内容を知る(カードで提示する)。		電子黒板	
展開	○長針と短針を用いて時刻を表す。 ・順に1時から12時 ・順不同に1時から12時	・教材を拡大し視覚的にとらえやすくする。	電子黒板	指示された時刻を正しく表すことができる。
	○iPad アプリを用いて、文字盤の数字、時刻の確認をする。	・視覚と聴覚で問題をとらえ、自分のペースで学習を進める。	児 iPad (くみたて時計パズル)	文字盤の数字、時刻を正しく当てはめられている。
	○日常生活に関わる場面を考え、時刻を表す。 ・朝 昼 晩	・日常生活の場面写真を提示して、時刻と対応させる。 ・学習の様子を iPad のカメラで記録しておく。	電子黒板 児 iPad	生活場面と時刻を関連付けようとしている。
まとめ	○日常生活に関わる時刻を確認する。	・iPad のカメラで記録した学習の様子を用いる。	電子黒板	
自習	○「Yahoo きっず図鑑」で、興味のあるものを調べる。	・アクセシビリティにより、操作を制限する。	児 iPad	